



Kagawa ST News

一般社団法人 香川県言語聴覚士会



【巻頭言】

平成の「半歩先」へ

- ・「地域包括ケアシステム」について、なぜSTの参加が今求められているか」について考える
- ・地域医療部からのお知らせ
- ・言語聴覚士が選ぶおススメの本はこれだ!!
- ・「第15回 四国言語聴覚学会」開催のご案内
- ・事務局からのお知らせ
- ・編集後記

	施設数	会員数
東讃地区	5 施設	28 名
高松地区	21 施設	64 名
中讃地区	17 施設	37 名
西讃地区	6 施設	38 名
その他	-	1 名
合計	49 施設	168 名

(平成 30 年 2 月 1 日現在)

巻 頭 言



平成の「半歩先」へ

野 田 知 良

一般社団法人香川県言語聴覚士会 副会長

一般社団法人としてのスタートを平成 29 年に切り、活動の方向性を探りながら実質的に歩み始めたこの平成 30 年。会員の皆様のご協力により、6 月の定時社員総会に始まり、様々な活動を実施することができました。

主だったところでは、9 月 2 日に第 1 回学術企画部・地域医療部合同研修会にて「地域個別ケア会議の実際」、「脳画像と神経心理学所見の診かた」というテーマで会員相互の研修を深めることができました。11 月 11 日には、森 淳一先生（大分リハビリテーション病院）をお迎えし、「地域包括ケア時代に ST に求められるリハ的視点」という演題でご講演をいただきました。また、11 月 25 日にはイオン綾川で『言語聴覚の日』に関する啓発イベントを実施することができました。年が明けて 3 月 3 日には、第 2 回学術集会を開催し「10 年後の自分の理想とする ST 像と県士会のあり方」というテーマでのワークショップや 4 題の演題発表がありました。

今年度は四国言語聴覚学会が台風の影響で中止となりましたが、2019 年度は橋本病院の白川卓先生が実行委員長となり、来る 7 月 28 日の高松国分寺ホールでの開催に向け、実行委員の先生方が準備を進めているところです。

他にも学術企画部ではブロック別の勉強会の開催、地域医療部では地域包括ケアシステムや訪問リハ、災害リハ、失語症患者の現状やニーズの調査、介護保険関連、プライマリケア、学校教育連携等、多種多様な領域との連携参画、広報部では会員一覧や会報発行、ホームページ更新など、事務局では会員情報管理や会計処理、他団体等との連携窓口としての業務などについて、本当に多くの会員の皆様のご協力やご支援があります。本当に皆様のご協力に感謝申し上げます。

先日、箱根駅伝で敗れた青山学院大学の原晋監督の話を聞く機会がありました。

「一歩先は難しいかもしれない。でも伸びる人は、自分を知り、それをクリアするため半歩先に目標を設定する。それをクリアすることだけに集中して、日々トレーニングを積む。これを繰り返すことで、大きな記録となる。」

平成の先の時代も、私たちの言語聴覚療法の知識や技量の向上、他職種との連携強化、地域への理解啓発推進など、課題は大きいと思います。目標を半歩先において、自分自身を、また香川県言語聴覚士会の未来を共に創っていきましょう。

特集

「地域包括ケアシステムについて、
なぜSTの参加が今求められているか？」を考える

医療法人財団博仁会 キナシ大林病院 地域包括ケアシステム委員会 上枝 淳

「地域包括ケアシステム」という言葉を耳にする機会が増えていますが、皆さんはどの位理解できているのでしょうか？地域包括ケアシステムとは「団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのこと」と定義されています。では、この地域包括ケアシステムにおいて私たちSTには何ができるのでしょうか？STの主な役割は、コミュニケーション障害（失語症・音声・発音障害・難聴・発達障がい等）や、摂食嚥下障害に対してアプローチを行うことであり、病院、施設においてはその専門性を発揮しています。しかし、病院（施設）を退院（退所）した後の方々はどうしているのでしょうか？実際に、コミュニケーション障害のために外出やコミュニケーション機会が減少し、「孤立」や「閉じこもり」になる方、適切な食事提供がされずに誤嚥性肺炎での入退院を繰り返される方が少なくないのではないのでしょうか。「地域包括ケアシステム」では、我々の専門性を病院や施設だけではなく社会に還元していくことが重要となってきます。例えば、コミュニケーション障害や摂食嚥下障害といった「目に見えにくい障害」についての啓蒙活動、失語症友の会やサロン、〇〇教室など「集いの場」への協力が考えられます。一方で、今後、依頼が増えるであろう「地域ケア会議」では、要支援・要介護者の自立支援につなげる助言を期待されるだけでなく、地域における社会資源の不足（集いの場、交通手段、宅配弁当業者等）などについての問題を提起するということも期待されています。しかし、これらの事は私たちSTだけで行えるものではありません。地域包括ケアシステムの基本方針にも継続的・維持可能な支援を行うために、「他職種・地域住民同士の連携」が必要と述べられており、地域住民までを含んだ大きなネットワーク（連携）が重要となります。では、「地域包括ケアシステム」の中で期待に応えられるSTとなるため、今日から私たちにできることは何でしょうか？まずは、広い視野を持つことです。日々知識や技術の習得に励むことはもちろん、患者の「障害」にだけ目を向けるのではなく、患者・社会背景も考慮して、自立支援（どうしたい、どうなりたい）に向けての目標の設定や指導をしていく必要があります。また、自分の生活する地域についてよく知ることも重要です。また、ネットワーク作りには地域の行事や多職種が集まる研修会などへ積極的に参加することも重要ではないでしょうか。

香川県地域包括ケアシステム推進委員会では、地域支援事業の一環で「地域ケア会議推進リーダー導入研修会」、「介護予防推進リーダー導入研修会」、等を毎年開催しています。地域の中で私たちSTに求められていること、また地域で実施している事業や活動等の知識を深められる良い機会ですので多くの会員に積極的に参加してほしいと思っております。

地域は我々の専門性を必要としています。その期待に応えられる準備を一緒にしていきましょう！

地域医療部からのお知らせ

三豊総合病院 地域医療部 合田 佳史

会員の皆様におかれましては、平素より地域医療部の活動にご参加、ご協力頂き、ありがとうございます。平成 30 年 5 月に各施設へお願い致しました、香川県内の失語症者実態調査について結果がまとまりました。この場をお借りして、会員の皆様へのご報告と御礼を述べさせていただきます。

これまで、国による正確な失語症患者の人数把握は行えておらず、NPO 法人日本失語症協議会によれば全国で推定 30~50 万人とされています。今回の調査にて、香川県内では重症度や後遺症の程度についての調査は行えていないものの、年間約 500 名の方が新規に発症されている（発症率 0.05%）という結果が得られました。また、失語症者及び家族の抱える問題についての調査では、多くの当事者・家族が何らかの困り感を持ち生活を行っており、外出機会の減少や社会交流の減少に繋がっていることが再確認できました。

現在、香川県でも『失語症者向け意思疎通支援者』の養成に向けての準備が開始され、我々 ST へ大きな期待を寄せられております。県や当事者・家族のニーズに応えるため、今後、我々県士会会員も力を併せて取り組んでいく必要があります。平成 31 年度には『失語症者向け意思疎通支援者養成事業』開始に向けての準備を県士会で取り組んでいく予定です。会員の皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

* 香川県失語症実態調査の結果については県士会ホームページ会員専用ページで閲覧できます。

言語聴覚士が選ぶ

「おすすめの本はこれだ!!」



紹介者：
香川県厚生農業協同組合連合会
屋島総合病院 リハビリテーション科
川野 雅英

会員の方より、おすすめの本をご紹介いただき、皆さまにご紹介していくコーナーです。

本の題名：言語聴覚士リスク管理ハンドブック
養成校では学べない臨床の知恵

常任編集：山本 徹 清水 宗平

発行所：ヒューマンプレス

紹介理由：言語聴覚士法が施行され、約 20 年の歳月が過ぎました。病院では患者と家族のニーズを捉え、医療的リスクを回避しながら適切な評価とアプローチ、および他職種や支援者ともスムーズに情報を共有してゴールを目指さなければなりません。これらは、現場の知として数年かけて身につけていく技術ですが、形式的にまとめたものではありません。4 月には多くの新会員が入職されてくるかと思えます。また、一人職場を経験される方が臨床の現場に迷った際におすすめできる一冊かと思えます。

CHECK!
先輩のアドバイスも記載しているので、より現場の意見に近いところがポイントかと思えます。

2019 年 3 月吉日

各位

第 15 回四国言語聴覚学会
大会長 武島 章
(香川県言語聴覚士会 会長)
(公印略)

『第 15 回四国言語聴覚学会』開催のご案内

初春の候、各県士会の皆様におかれましてはご清祥の事とお慶び申し上げます。

『第 15 回四国言語聴覚学会』を下記の要領にて開催する運びとなりましたのでご案内致します。なお、期日までの参加申し込みにご協力くださいますようお願い申し上げます。当日参加はご遠慮ください。

記

1. 日 時

2019 年 7 月 28 日(日)

専門講座： 9 時 50 分(受付 9 時 20 分)

四国学会： 12 時 40 分

※生涯学習プログラムポイント申請予定

2. 場 所

高松国分寺ホール (<http://kokubunji-holl.jp/access/index.html>)

〒769-0104 香川県高松市国分寺町新名 430 番地

TEL 087-875-0162 FAX 087-875-0163

※敷地内に無料駐車場約 230 台分あり。なるべく乗り合わせてお越しください※

3. 参加費

学会参加 県士会員 2,000 円

非会員 4,000 円

学生 500 円

専門講座 協会員 2,000 円

非会員 4,000 円

学生 500 円

4. 内容

※第一報からスケジュールを変更しております※

9:20 受付

9:50 専門講座

「応用行動分析学(ABA)に基づいたポジティブな行動支援」

講師 大久保賢一先生 (畿央大学 教育学部 准教授)

11:20 休憩

(12:00 学会からの参加受付開始)

12:40 開会

12:50 一般演題 (各県一演題ずつ。発表7分、質疑8分予定)

13:50 シンポジウム

「災害リハビリテーションについて (仮)」

各県シンポジストからの報告とディスカッションを予定

14:50 休憩

15:00 特別講演

「摂食嚥下リハビリテーションにおける機能訓練 Update (仮)」

講師 福岡達之先生 (広島国際大学 医学博士)

16:30 閉会

16:40 片付け

17:00 終了

5. 参加申し込み方法

2019年6月21日(金)までに以下の内容を記載し、メールにてお申し込みください。

各施設でまとめた申し込みを宜しく願います。

メールアドレス shikokust2019@yahoo.co.jp

担当 四国こどもとおとなの医療センター 高木威一郎

申し込み時の記載内容

- ①氏名
- ②所属
- ③所属県
- ④県士会員・非会員・学生
- ⑤連絡先(電話、もしくはメールアドレス)
- ⑥専門講座受講の有無
- ⑦協会番号

受付を確認次第、受付完了のメールをお送りさせていただきます。申し込み後、1週間以内にメールが届かない場合は、お手数ではございますが再度お送りくださいますよう、よろしく願いいたします。

6. 一般演題申し込み方法

2019年4月30日(火)までに一般演題申し込みの旨と以下の項目を記載し、メールにてお申し込み下さい。

なお、各県1題までとさせていただきます。

メールアドレス endaibosyu@yahoo.co.jp

担当 橋本病院 小松 愛実

申し込み時の記載内容

- ①氏名
- ②所属
- ③演題名
- ④連絡先 (PC メールアドレス)

申し込みを確認次第、メールをお送りさせていただきます。申し込み後、1週間以内にメールが届かない場合は、お手数ではございますが再度お送りくださいますよう、よろしく願いいたします。

なお、抄録の書式、メ切りや、発表時のスライドの仕様 (Windows、Mac、Power Point のバージョン等)、音声・動画の使用については、担当より後日、確認・ご連絡させていただきます。

【お問い合わせ】

<大会事務局>

橋本病院 リハビリテーション部 白川 卓

〒768-0103 香川県三豊市山本町財田西 902-1

メールアドレス wafukai@gaea.ocn.ne.jp

TEL 0875-63-3311 FAX 0875-63-2651



編集後記

今号は、地域包括ケアについてご紹介しています。

誌面作成に当たりご協力頂いた皆さまには、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。会員の皆さまに楽しんで頂けるような広報誌発刊を目指してします。何卒宜しく願い申し上げます。

事務局よりお知らせ

《 入会ご希望の方へ 》

「入会届」の提出と年会費¥4,000のお支払いをお願いします。

《 会員の皆様へ 》

- 下記に変更があった方は事務局までご連絡ください。
* 職場 * 名前 * 連絡先 * メールアドレス など
⇒ 「変更届」の提出をお願いします。 ※メール、郵送対応可能
- 年会費は年度中の支払いをお願いします。
滞納の有無は事務局までお問い合わせください。
- 退会については、事務局までお問い合わせください。

《 届出用紙の提出方法 》

「入会届」「変更届」は県士会ホームページ <http://www.normanet.ne.jp/~kagawast> よりダウンロードできます。ご入力・記入の上、メールまたは郵送にて事務局までご送付ください。
注意：メールで用紙を送付された方には受領メールを送らせて頂きます。
受領メールが一週間以内に届かない場合は、事務局までお問い合わせください。

《 振込先 》

ゆうちょ銀行

【記号】16310 【番号】18249361

【名前】一般社団法人香川県言語聴覚士会

◎他の金融機関からの振込

【店名】六三八 【店番】638 【預金種目】普通預金

【口座番号】1824936

注意：入金いただきましたら事務局までご一報ください

その他、ご不明な点や確認したいことがありましたら、事務局までお問い合わせください。

一般社団法人 香川県言語聴覚士会 事務局

〒761-8057

香川県高松市田村町 1114 番地

かがわ総合リハビリテーションセンター 言語療法室内

電話：087-867-6008

メール：st@kagawa-reha.net